



Wilhelm・Conrad・Röntgen
ヴィルヘルム・コンラート・レントゲン
1895年 X線発見

放射線だより

2023年8月
No. 21 (隔月発行)
担当：馬場俊明

from Radiation House

令和4年度整備計画にて調達された医療機器の放射線科内への配備が終わりました。X線撮影装置においては全脊椎や全下肢を一度に広範囲で撮影できるFujifilm社製の『CALNEO GL』、Siemens社製1.5T MRI 『Magnetom Altea』、CT画像と核医学画像をFusionが可能なCT装置と一体化したGE社製CT搭載型SPECT装置『NM/CT 870 DR』です。以前より、お待たせする時間が短くなり、ストレスの少ない検査となっています。これからも患者さまにやさしい検査を提供していけるように取り組んでいます。

X-RAY

従来機では複数回の分割撮影が必要で、位置ずれが発生していましたが、広範囲を一度の撮影で可能となり、位置ずれもなく、息止め時間も短い、患者さまにやさしい検査が可能となりました。



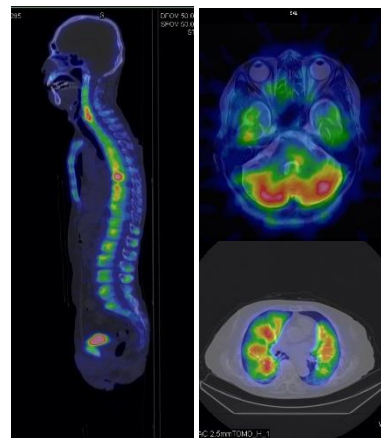
MRI



2008年より使用していた装置の更新となりました。開口径が70cmと広くなり、全長も157cmと短いため開放感がある新しいMRI装置です。次世代の高速撮像技術が搭載され、撮像時間が短縮されました。従来よりストレスの少ない検査が可能となりました。

NM

こちらも2008年より使用してきたSPECT装置の更新です。使用する放射性医薬品は同じですが感度と画質を向上させる新たなデータ収集方法が搭載されました。同時収集するCT画像とFusionすることで解剖学的位置の把握しやすい画像を提供できます。



文責：飯島

マンモグラフィ検診施設画像認定の 更新を行いました



マンモグラフィ検診 施設・画像認定とは

マンモグラフィ検診の精度
維持・向上を目的とする
NPO法人日本乳がん検診
精度管理中央機構が、その
施設の検査装置や撮影した
写真、撮影に要したX線量な
どを総合的に判断し、必要
な基準を全て満たした施設
を認定したものです。

- ◆ 書類審査 品質管理の実施記録等
- ◆ 画像評価 ファントム画像・臨床画像の評価
- ◆ 線量評価 ガラス線量計による測定

上記の審査に合格することで取得できます。

今年の8月に更新を無事終え、今後もより良い画像の提供およ
び被ばく低減のために撮影技術の向上と装置の精度管理に努
めてまいります。
(文責:横手)